

趣意書

謹啓 時下貴社におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、21世紀に入り、ますます少子高齢化の国民医療のあり方がクローズアップされる時代となりました。このような時代においては高齢者に優しくかつ若年層の負担が軽減できる健全な21世紀の医療・医学が問われています。

日本未病学会は、病気と健康の間に新たに「未病」という分野を創設することで将来の日本の医学、医療の問題解決策を求め、この「未病」の時期の早期診断とセルフプリベンションで医療費の負担がいかに軽減できるかを啓蒙し、その研究と情報発信ならびに社会貢献に取り組む学会です。

将来の医療経済の状況を考えるとこの「未病期間」のコントロールこそが、長い目で見た場合、日本の医療費の軽減とともに健全な長寿社会の実現につながると考えられるからです。具体的には主な研究と活動分野として、以下のことを行っております。

- 1) 自覚症状はないが検査では異常値を示す疾患の早期発見法とケアの研究
- 2) 病気になりにくい人の研究および老化制御の研究
- 3) セルフプリベンションの場としての未病ファーマシーの創設
- 4) 医薬連携の研究
- 5) 機能性健康食品（未病食）の検証と啓蒙
- 6) 発症前疾患の遺伝子診断法の確立
- 7) 未病診断法・未病検査の開発と応用
- 8) 未病を支える社会と組織の基盤形成

以上のとおり研究領域は広く多岐に及びます。学会員も医師の他に歯科医師、薬剤師、臨床検査技師、薬学研究者、栄養士、看護師、保健師、介護士、心理士、運動療養士、健康管理士、精神保健福祉士、経済学者など多分野から構成され、医学系分野のみならず、健康産業分野からも期待されています。

しかしながら、学術総会の開催、機関誌発行、各部会活動支援など本会の目的と事業を遂行していくため、可能な限り経費節減に努力しておりますが、諸般の事情により会員の会費だけで持続発展的に運営していくことは困難な状況であります。

つきましては、本学会の趣旨についてご理解いただき、円滑な学会運営のために本会へのご支援をお願い申し上げます。何卒よろしく願いいたします。

謹白

2024年11月

一般社団法人 日本未病学会理事長 吉田 博
東京慈恵会医科大学臨床検査医学講座 教授/東京慈恵会医科大学附属柏病院 病院長